熊谷市
記者クラブ取材情報

令和8年6月30日発表
担当課：商業観光課

タイトル

令和8年　熊谷うちわ祭

1．日時　令和　８年　７月２０日（月・祝）　～７月２２日（水）

2．場所　熊谷市街地、お祭り広場ほか

3．事業概要

八坂神社大祭「熊谷うちわ祭」は毎年７月２０日から２２日に開催される、江戸時代から続く八坂神社の祭礼です。“関東一の祇園”と称され、例年、３日間の開催中に大勢の観光客が訪れる、本市を代表するお祭りです。

4．特徴やPRポイント

令和８年のうちわ祭につきましては、２０日の初叩合いをはじめ、２１日、２２日には国道１７号を含めた市街地で交通規制を実施し、１２台の山車・屋台が勇壮な熊谷囃子を響かせながら巡行します。

今年の年番町である筑波区の基本方針「原点回帰『祈りと誉れと』」の精神のもと「熊谷うちわ祭」の醍醐味を味わっていただきますよう御案内いたします。

【主な行事】
・７月２０日（月・祝）
　渡御祭、初叩き合い
・７月２１日（火）
　巡行祭
・７月２２日（水）
　行宮祭、曳っ合せ叩き合い、年番送り

【その他】
・お祭り広場に行宮が設置され、神事が執り行われます。

5．その他

【主催者】
八坂神社大祭　熊谷うちわ祭
令和８年　年番町　筑波区
大総代　栗原秀樹（くりはら　ひでき）

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）　※市HPの掲載（ 有 ・ 無 ）

担当者　産業振興部商業観光課　須藤、富田
連絡先　048-524-1111（内線312）

令和８年６月３０日（火）

午前１０時３０分～

熊谷市役所３０３会議室

令和８年 八坂神社大祭

熊谷うちわ祭　記者発表

発表一覧

1. **原点回帰「祈りと誉れと」本年基本方針について**
2. **神事の本質を次代へ！原点回帰に基づく所作・振る舞いの再確認**
3. **暑さ対策日本一の熊谷市と取り組む「熱中症対策」**
4. **初の試み！祭を未来へつなぐ新たな資金調達にチャレンジ！**
5. **スポンサーの皆さまと新たな取組をスタートしました！**
6. **巡行祭と7年振りとなる初日駅東口での初叩き合い**
7. **初音ミクたちが熊谷の夏を盛り上げます！**
8. **今年も開催！！ラグビーパレードの実施！！**

八坂神社大祭
熊谷うちわ祭

発表資料１

令和８年年番町　筑波区　発
令和８年６月３０日
担当：副大総代　　日向

報道機関各位

令和８年　八坂神社大祭　熊谷うちわ祭
原点回帰「祈りと誉れと」
基本方針について

江戸時代から続く伝統と、その先の未来へ。令和8年八坂神社大祭熊谷うちわ祭では、年番町筑波区が基本方針として**原点回帰「祈りと誉れと」**を掲げ、祭の本質である祈りと、地域の誇りである誉れを改めて見つめ直しながら、無事故で盛大に、そして持続可能な祭運営の実現を目指します。熊谷うちわ祭は、単なる夏の賑わいの場ではなく、京都祇園社に起源を持つ疫病消除の祈りを受け継ぐ神事であり、熊谷の地域文化と市民の誇りを体現する祭礼です。

本年は今一度その原点に立ち返り、神事の意味、所作の意味、町と神社との関係を見つめ直しながら、未来へ継承すべき祭の本質を再確認してまいります。また、「関東一の祇園祭」とも称される本祭は、祭関係者のみならず、市民にとっても内面的な拠り所であり、地域の誉れでもあります。一方で、無事故で盛大に執り行うためには、安全対策、資金確保、理解と協力の輪づくりなど、現代的課題への具体的対応が欠かせません。本年は、伝統の尊重と現実的な運営の両立を図りながら、実現可能で持続可能な祭のあり方を示してまいります。

なお、年番町筑波区が八坂神社宮司より賜った言葉は「疾風勁草」です。変化の激しい時代にあっても揺るがぬ意思を持ち、祭を未来へつないでいく決意をこの言葉に込めています。

年番町　筑波区　大総代　栗原秀樹



八坂神社大祭

熊谷うちわ祭

発表資料２

令和８年年番町　筑波区　発
令和８年６月３０日
担当：副大総代　　日向

報道機関各位

神事の本質を次代へ！原点回帰に基づく所作・振る舞いの再確認

熊谷うちわ祭は、単なる夏の催しではなく、八坂神社の例大祭として執り行われる神事であり、遷霊祭、渡御祭、行宮祭、還御祭へと連なる厳粛な祭礼秩序の上に成り立っています。その華やかさは、神事の積み重ねと地域の祈りに支えられているものであり、本年の「原点回帰」は、その本質を改めて共有する取り組みです。

このため本年は、祭礼に携わる関係者一人ひとりが、神社との関係、神輿・山車・屋台を迎える心構え、巡行や奉納における礼節など、所作や振る舞いの意味を理解したうえで行動することを重視します。形だけではなく、なぜその形があるのかを踏まえた実践を通じて、熊谷人としての祭礼文化を再確認し、次代へ継承してまいります。



遷霊祭

祭礼の始まりを告げる重要な神事です。愛宕八坂神社本殿において、神様の御霊を神輿へお遷しする神事が厳かに執り行われます。神輿はこの神事によって神様をお迎えし、翌20日の渡御祭に備えます。一般公開は行われず、祭礼関係者のみで執り行われる神聖な儀式です。



渡御祭

渡御祭は熊谷うちわ祭を象徴する最初の神事です。早朝、愛宕八坂神社で発輿祭が執り行われた後、神輿は本宮を出発し、旧市街地八ヶ町を巡り、東西南北四ヶ所で祓いを行い、御仮屋へ向かいます。



行宮祭

御仮屋で執り行われる最も厳粛な神事です。祝詞奏上・玉串奉奠等を行い、地域の安寧、五穀豊穣、疫病退散を祈願します。



還御祭

御仮屋から神輿が愛宕八坂神社へ還御し、本宮で着輿祭を行って祭礼を締めくくります。

八坂神社宮司・権禰宜による祭事関係者講習会の開催

令和８年５月２１日、「うちわ祭大学」において、八坂神社宮司 茂木治男様を講師に迎え、祭事関係者を対象とした講習会を開催しました。講習会では、熊谷うちわ祭が「神事」であることを改めて認識し、祭礼の本来の意義や作法について理解を深めました。

【講習内容】

① 祭の本質
② 祇園祭・八坂神社大祭の歴史
③ 熊谷うちわ祭の神事
④ 祭礼作法
⑤ 祭礼に臨む心構え



八坂神社大祭
熊谷うちわ祭

発表資料３

令和８年年番町　筑波区　発
令和８年６月３０日
担当：副大総代　　黒田

報道機関各位

暑さ対策日本一の熊谷市と取り組む「熱中症対策」

２００年以上歴史と伝統を誇る熊谷うちわ祭ですが、近年は熱中症の報道が散見されています。日本有数の「熱い街熊谷」ならではの報道ですが、近年は気温上昇も続いており、来場者並びにお祭り関係者の安全確保のためには、組織的な救護体制を整えることが急務であります。
　しかし、年番制をとるうちわ祭では毎年やり方が変わってしまい、熱中症の組織的な対策が仕組化されてきませんでした。そこで「暑さ対策日本一」を標榜する熊谷市や消防本部、祭関係者と連携を取りながら、熱中症の予防と対策のスタンダードとなる組織体制づくりをすることで、熊谷うちわ祭における熱中症対策を確立し、歴史と伝統あるこの祭が今後も無事故で盛大に継続させてまいります。

救護本部設置　救急救命士・保健師常駐
7月21日(13~21時)・22日(13~22時)に設置



各救護所への助言、傷病者の情報集約

移動救護所　看護師・消防職員　常駐
人の密集する傷病者の発生しやすい場所に設置


熊谷駅前

7月20日(月)
18:00～20:00
みずほ銀行熊谷


巡行祭筑波

7月21日(火)
13:00～18:00
スマイルホテル熊谷


お祭り広場

7月22日(水)
19:00～21:30
㈱セカンドムーブ

救命講習会(5月13日・18日)



・救命救急活動のレクチャー・練習
・各町区巡行中の救護体制・熱中症予防について
　※救命医の増野先生による特別講義
・計75名の講習受講者に「熱中症対策担当タスキ」配布し、担当者が山車・屋台に帯同する

救護所MAP(うちわ祭HP掲載)



救護本部・移動救護所のほかに、12カ町に簡易救護所を設ける。またクーリングスポットも標記している。

八坂神社大祭

熊谷うちわ祭

報道機関各位

発表資料４

令和８年年番町　筑波区　発
令和８年６月３０日
担当：副大総代　　大久保

初の試み！祭を未来へつなぐ新たな資金調達にチャレンジ！

「関東一の祇園」とも称される熊谷うちわ祭ですが、近年は警備費、熱中症対策費、設備費の負担が増え、祭を支える環境も大きく変化しています。こうした中、熊谷うちわ祭を持続的に、無事故で盛大に挙行していくための新たな収入源として、本年は地元金融機関である埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫を中心とした熊谷金融連絡会の皆さまのご協力のもと新たな資金調達にチャレンジをしています。1つ目は熊谷うちわ祭を寄付先に指定した「埼玉りそな寄贈型CSR私募債」の実施です。私募債発行手数料の一部を熊谷うちわ祭への寄付金として選定いただきました。2つ目はむさしの未来パートナーズによる返礼品型クラウドファンディングの実施です。本件は、資金調達にとどまらず、祭を未来へつなぐ参加の仕組みとして位置づけています。今後も本年実施した新たなチャレンジを含めた様々な収入源を模索し、持続可能な祭運営の形を具体化してまいります。多くの方に祭の価値を知っていただき、未来の子どもたちへ熊谷の夏をつないでいくため、引き続きご支援とご協力をお願いいたします。



埼玉りそなCSR私募債の特集記事（埼玉新聞：5月15日）



むさしの未来パートナーズクラウドファンディング

八坂神社大祭
熊谷うちわ祭

発表資料５

報道機関各位

令和８年年番町　筑波区　発
令和８年６月３０日
担当：副大総代　　大久保

スポンサーの皆さまと新たな取組をスタートしました！

本年もたくさんのスポンサーの皆さまに熊谷うちわ祭への寄付をいただき、無事故で盛大な熊谷うちわ祭の挙行にご協力を賜っております。



本年の公式スポンサーの皆さま

また、本年年番町筑波区では、今までの１口３０万円のスポンサー料の枠組みにとらわれない様々な形にご協力いただき、祭を未来につなぐ仕組み作りにチャレンジをしております。

① 特別奉納者（２口６０万円寄付のスポンサー）

埼玉りそな銀行　武蔵野銀行　まっすぐ、あなたへ。埼玉縣信用金庫

② ４０万円寄付のスポンサー

ALSOK埼玉株式会社

③ ３０万円寄付＋商品提供のスポンサー

健康にアイデアを meiji



④ 事業協力企業の皆さま（１０万円寄付）

日本たばこ産業株式会社、　フィリップ モリス ジャパン合同会社

八坂神社大祭
熊谷うちわ祭

発表資料６

令和８年年番町　筑波区　発
令和８年６月３０日
担当：副大総代　　藤澤

報道機関各位

巡行祭と 7 年振りとなる初日駅東口での初叩き合い

１．巡行祭のあり方

江戸中期から受け継がれているうちわ祭、それまでは御神輿の渡御を中心とした祭礼行事であった。各町区が江戸・東京方面から山車屋台を購入したのをきっかけに明治 24 年頃 （1891 年）に巡行祭が始まったと記録が残されている。今年は熱中症対策や諸物価高騰による影響で旧 5 ヶ町（第壱本町区・第弐本町区 ・ 筑波区・鎌倉区・仲町区） を代表して年番町の筑波区と仲町区が石原区・本石区をお迎えする形でスタートする。石原区・本石区の巡行祭参加の歴史は以下のとおりである。

【 石原区・本石区の巡行祭参加の歴史 】

年代	状況
昭和 8 年(1933 年)	・市制施行を契機に、旧「石原村」のうち「石原区」「本石区」が巡行行事に参加を開始。
昭和 12 年 (1937 年頃)	・石原区・本石区それぞれが新しい屋台（山車）を製作。 ―石原区：熊谷で唯一の「四方破風屋根屋台」を造営。 ―本石区：「石原壱丁目屋台」として新調。総欅造りで、市内でも最大・最重量の屋台。彫刻は名匠による。
昭和 20 年 (1945 年・終戦直前)	・8 月 14～15 日の空襲で、神社（愛宕八坂神社）の本殿・宮神輿及び一部屋台（例えば当時の他区の屋台）が焼失。この大空襲によって、祭礼・巡行行事は大きな打撃を受ける。
昭和 22 年 (戦後まもなく)	・戦災後の復興の流れの中で、祭礼行事が再編。新たな区（荒川区、銀座区など）が参加し、8 カ町区制による体制が成立。石原区・本石区もこの新体制の一翼を担った。
戦後～昭和 20 年代後半	・屋台と囃子（おはやし）の伝承が進み、地域の復興と共に祭が継続例えば本石区と石原区の屋台構造・囃子スタイルが現在に承継されている。

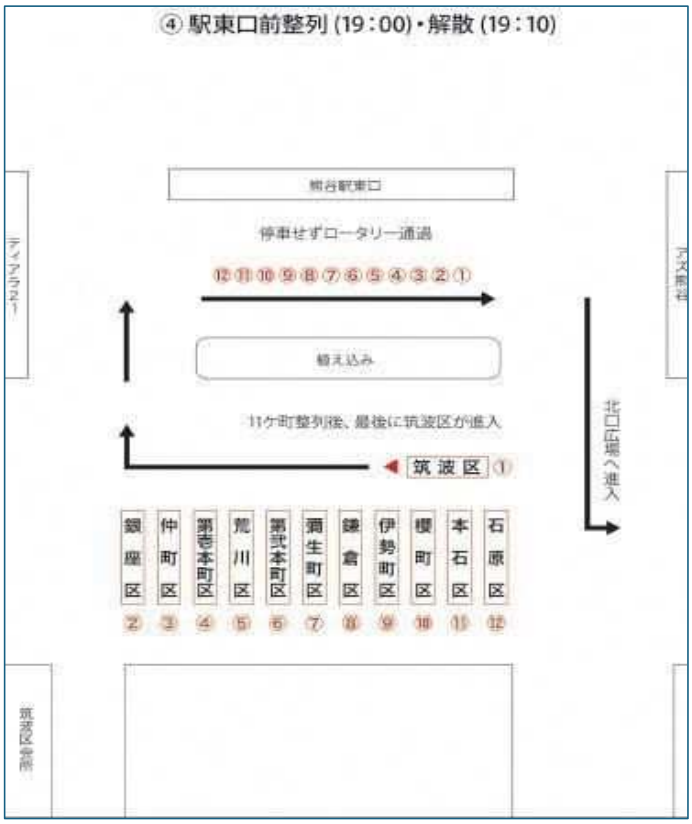
２．７年振りとなる駅東口での初叩き合い

年番町筑波区のお膝元でもある熊谷駅、令和元年以来コロナ渦で一旦中止となっていた駅東口ロータリー広場（ティアラ口）での初日の初叩き合いを盛大に復活させる。

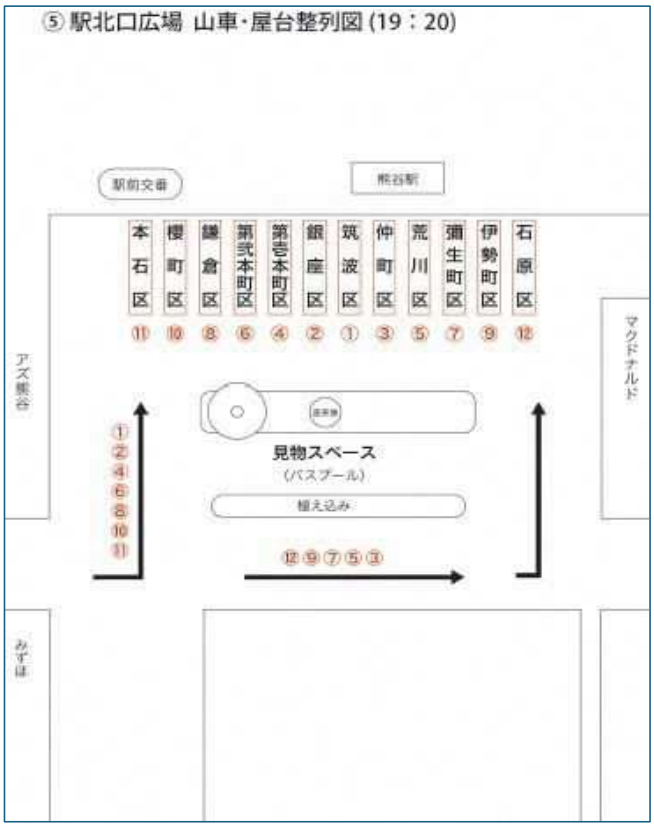
「無事故で盛大なお祭り」を催行する為、熊谷警察や協力警備会社など関係機関にもご協力を頂いている。

その後、例年どおり駅北口広場ロータリーで叩き合いを行う。

【駅東口ロータリー整列図】



【駅北口ロータリー整列図】



八坂神社大祭
熊谷うちわ祭

発表資料７

令和８年年番町　筑波区　発
令和８年６月３０日
担当：副大総代　　大久保

報道機関各位

初音ミクたちが熊谷の夏を盛り上げます！



本年夏、熊谷市観光協会が実施する「初音ミク×招き猫×真夏の熊谷」コラボレーション事業に熊谷うちわ祭年番町筑波区として協力し、熊谷駅東口（ティアラ口）前に６名のキャラクター提灯を掲出します。コラボ期間中は秩父鉄道での特別ヘッドマーク掲出や、街中回遊スタンプラリー、ポップアップショップ等も開催され、人気キャラクターの持つ知名度や発信力で熊谷うちわ祭の魅力を全国に発出していきます。

具体的には７月１９日の秩父鉄道SL特別運行、７月１９日から２２日までのアズ熊谷６階プレイスホールにおけるポップアップショップ、熊谷駅観光案内所でのオリジナルグッズ販売、さらに６月２８日から８月９日まで熊谷駅東口（ティアラ口）ロータリーにおける献灯提灯掲出が予定されています。

本件は、熊谷うちわ祭そのものの神事性を変えるものではなく、熊谷の夏全体の賑わい創出と、新たなファン層への訴求、地域回遊の促進に資する取り組みとして位置づけています。

【スタンプラリー実施箇所】

① アズ熊谷６階プレイスホール
② ティアラ２１
③ キングアンバサダーホテル
④ コミュニティー広場
⑤ 軍配本舗　中家堂
⑥ 星溪園
⑦ 八木橋百貨店

八坂神社大祭
熊谷うちわ祭

発表資料８

令和８年年番町　筑波区　発
令和８年６月３０日
担当：副大総代　　大久保

報道機関各位

今年も開催！ラグビーパレードの実施！！

熊谷うちわ祭の賑わい創出の一つとして、本年もラグビーパレードを実施します。開催日時は７月２１日１５時から１６時まで、場所は国道１７号（市役所入口交差点から鎌倉町交差点まで）です。巡行祭山車通過後の国道17号における賑わいを絶やさないために行うものであり、ラグビータウン熊谷としてラグビー人気が地域に根差すことも目的としています。

主な参加者は、パナソニックワイルドナイツ、アルカス熊谷、熊谷高校ラグビー部、熊谷工業高校ラグビー部、熊谷市内中学校ラグビーチーム、熊谷ラグビースクール、深谷ラグビースクール等で、予定参加数は約３００人です。内容はラグビーパレード、チームパフォーマンス、広報活動等を予定しています。

また、本件は熊谷うちわ祭の巡行祭後の賑わいを継続させるとともに、熊谷のもう一つの都市アイデンティティである「ラグビータウン熊谷」を市内外へ発信する取り組みでもあります。　祭とスポーツ文化の融合により、幅広い世代に親しまれる夏の風景を創出してまいります。



祭とともに広がる熊谷の賑わい



昨年度のパレード参加者の様子